

# 群馬県国際理解教育研究会だより

群馬県国際理解教育研究会 発行責任者 会長 富澤 厚

2018年(平成30年)



平成30年12月19日発行

## 「シニア派遣セミナー&帰国教員実践発表会」

11月18日(日)に、群馬県生涯学習センターで「シニア派遣セミナーおよび帰国教員実践発表会」が行われました。今回は、シニア派遣経験のある林悦子先生と3月に帰国された小林宏和先生、渡部貴之先生による報告でした。それぞれの先生方が派遣された国での生活の様子や教育実践について話してくださいました。興味深い話がたくさんありました。

### はじめに・・・



富澤会長から、ここ2年ほど群馬県では派遣希望者が少ないため、県教委でも様々な働きかけをしているとのことがありました。そのためか、今年度の派遣希望者数は昨年度よりも増えているとのことでした。

また、シニア派遣の制度は平成19年にはじまり、補習校のみならず、全日制の日本人学校にも多く派遣されていて、派遣者数は年々増加傾向にあるとのことでした。現在、本県から派遣されているシニア派遣の先生方は7名です。

在外教育施設についてのさまざまな情報が見られるWEBページ「海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育等に関するホームページ(CLARINET)」があります。こちらにはたくさんの情報がアップされていますので、派遣を希望する場合はぜひ参考にしてください。



### シニア派遣セミナー



続いて、クアラルンプール日本人学校にH26~H29年まで派遣されていた林悦子先生による講和がありました。林先生の派遣までの流れは以下の通りです(林先生の資料からの抜粋)。

- 5月末 : 希望を提出(志望動機, 経歴, 校長推薦状など)
- 8月中旬 : 文科省にて面接と実技(パソコン)
- 12月下旬 : 結果通知受理, 退職手続き
- 1月下旬 : 研修(5日間) ※土曜日には配偶者研修あり
- 2・3月 : 各種予防接種, 船便荷造り, 卒業証明書や免許  
勤務校の校長・教務・お世話係の先生とメールでのやりとり
- 3月末 : 退職
- 出発まで : 市役所での手続き, すぐ使うものはトランクへ



【クアラルンプール日本人学校】林悦子先生

派遣先が決まる12月あたりから、現職の教員も派遣に向けての事務手続き等で忙しくなってきますが、シニア派遣の先生の場合も同様で、退職手続きも併せて進めていかなければいけないため、とても大変だとのことでした。シニア派遣を希望する場合は、年度末のあわただしさを考え、準備をする必要があるということがわかりました。

## 帰国教員実践報告会



続いて、今年3月に帰国された2名の先生方による実践報告会が行われました。

小林先生の実践報告では、校務分掌の中で英語主任としての仕事内容が印象的でした。シンガポールは英語が公用語の一つでもあることから、日本人学校でも実践的な英語教育が行われているとのこと。一つのクラスを3つのコースに分けたり、二つのクラスを5つのコースに分けたり工夫しながら授業の駒組みをしていたことがわかりました。

渡部先生の実践報告では、イスラム教を国教としているサウジアラビアでの生活が宗教を中心に回っていることや、宗教関連の紛争が体験学習等の教育活動にも影響を与えていることがとても印象的でした。

お二人とも日本との文化の違いに最初は戸惑いを感じながらも、その国の生活や文化をうまく取り入れながら教育活動を行ってきたことがわかりました。



【シンガポール日本人学校】小林宏和先生



【リヤド日本人学校】渡部貴之先生

### 親睦会～「菜香家 わ」にて～

会員の親睦を深めるために親睦会を行いました。帰国された先生方からは、現地での楽しい思い出やセミナーでは話せなかった裏話なども聞くことができ、大いに盛り上がりました。

今後も親睦会等を通じていろいろと情報交換ができればと思います。今回参加できなかった会員の皆さんも次回はぜひ参加してください。私たち派遣経験教員が得た経験は、これからの教育にとって大変重要な意味をもつと思われま。子供たちのためにがんばりましょう。



### 定例役員会および関ブロ会議にて



群馬県国際理解教育研究会の活動をもっと一般の教員にも周知しようということから、2月2日(土)に行われる群馬教育フェスタに参加することになりました。これまで行っていた「帰国教員体験発表会」「派遣希望者セミナー」に加えて「展示ブース」などを予定しています。ぜひたくさんの方に足を運んでいただきたいと思います。

また、2019年8月17日に関東ブロック群馬大会を前橋で行います。テーマは「グローバル化時代における国際理解教育」です。事務局を中心に現在準備を進めています。

